



白馬村・小谷村では「ふきのとう」を方言で『ちゃんめろ』と言います。

土砂災害危険箇所の合同パトロールを実施しました

6月の土砂災害防止月間に合わせ、土砂災害危険箇所の合同パトロールを実施しました。土砂災害危険箇所の情報共有と緊急時の迅速な対応に役立てるため、また対策工法について専門家のアドバイスをいただくため、毎年実施しているものです。

◆6月17日（水）

長野県砂防ボランティア協会の専門家の皆さんと、雪解け後に地すべり等の変状が発生した箇所を3箇所（横根沢[砂防]、通[地すべり]、一ノ倉[地すべり]）パトロールしました。

ボランティアの皆さんからは、現在のところ概ねその後の大きな変状は確認できないが、引き続き監視体制を継続するようアドバイスをいただきました。



小谷村 横根沢（砂防）



白馬村 一ノ倉（地すべり）

◆6月29日（月）

警察・消防など関係機関から19名が参加し、白馬村、小谷村の2班に分かれて国、県、村の危険箇所9箇所のパトロールを実施しました。

昨年の神城断層地震の後融雪期を過ぎてのパトロールであり、崩落土や地すべり土塊の移動状況について説明があり、今後の復旧予定やそれまでの安全対策について情報交換が行われました。



（砂）かくれ沢（小谷村 中谷東）



（国）148号（白馬村 通）

おすすめの観光スポット



梅池自然園



雨飾山



白馬三山



白馬大雪渓

宮澤敏文県議会議員が管内現地調査を実施



5月22日(金)に宮澤敏文長野県議会議員が管内現地調査を行いました。

担当者の説明を聞きながら実際に現場を歩き、時には現地で出会った住民の方のご意見に耳を傾けながら、神城断層地震による被災箇所や今年度の事業箇所など12箇所を1日かけて回りました。



←小谷村 日土沢にて担当者から建設中の砂防えん堤の説明を受ける宮澤県議

事業の情報を共有 白馬村・小谷村との意見交換会

砂防事業を円滑に進めるため、5月12日に小谷村役場、5月14日に白馬村役場で意見交換会を行いました。この意見交換会では、本所からは本年度実施予定箇所の事業内容の説明を行い、施工上の問題点や課題、今後の対応方針の確認を行い、役場からは地元地区からの要望箇所について説明を受け、引き続き、現地調査を行いました。

調査箇所のうち、緊急に対応が必要な箇所については、早急に工事を実施し、安全で安心な地域づくりを行います。



現地調査の状況【小谷村(砂)滝の沢】



白馬村 峯方下地すべり 地震による被災状況調査

現場紹介 <<県単砂防事業 白馬村幸田 日向沢>>

平成26年4月に砂防河川日向沢左岸で発生した法面崩壊は河川へ流入し、閉塞して天然ダムの形成に至るところでしたが、応急工事としてヒューム管を配置し、仮排水を行うことで難を逃れました。

現在は恒久対策としてカゴ枠工を施工し、流出する土砂を抑える工事を行っています。

カゴ枠とは鉄線を籠状に組んで枠を作り、その中に石材を入れた構造物です。石材が主たる材料であるため動植物の生息に適しており、自然に優しい工法となっています。



カゴ枠を施工中の様子です